

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

「買いサイン」から「上昇トレンド形成」の予感



■ コメント ■

本日の東京ガソリン市場は前日比+1,250円の44,950円で終了となった。3連休明けのNY市場における株高・ドル安・原油高といった、初日出足の好調さが好感された格好である。原油・製品共に買いが先行、ガソリンは夜間の終了時から1,500円超の上昇で寄り付く。灯油においては5/11の年初来高値を更新している。正午には石油連盟による原油・製品統計週報が発表され、ガソリン在庫が前週比で10.5%増と4週振りの増加、そして週間出荷量が同27.9%減と2週連続で減少した。国内ファンダメンタルの弱さから、当限の上げ幅は抑えられたが、期先は終盤にかけて引き締まる。

前日に確認出来た「押し目買い」のサインから、本日の上昇によりアップトレンド形成への確実な変化が昨日同様2つの指数から見てとれる。RSIは50%割れの水準から切り返し、RCIは短期と中期がクロス完了。ローソク足は25日、そして50日の移動平均線で下を支えられている。上値は先週の高値が意識されてか支持線(青点線)により抑えられた格好であるが、もはや時間の問題であろう。現在、夜間の立会は上昇中である。

NY原油の逆行状態が気がかりではあるが、今晚の上昇による相対力の切り返しを信じたいところ。(17:25記 越村)

■ テクニカル ■

移動平均(25)	43,036円
移動平均(50)	43,171円
RSI(9)	57.32%
RCI(9, 17)	11.66/6.62
RCI(26)	27.68

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。